

失敗を恐れない

「失敗学」を知っていますか。失敗学を研究している研究者は、「過去の事例を集めると、新しいことに挑戦した時、99.7%は失敗に終わる。」と報告しています。この数字だけを見ると、「どうせ失敗するなら・・・」と弱気になってしまいますね。でも、自分自身のこれまでを振り返ると、「もっと勉強（練習）しておけばよかった。」「あの時、こうしておけば良かった。」などと失敗を感じるとともに、その**失敗を少しずつ修正しながら次の努力を続けて前に進んできた**と思います。そして、改めて「**失敗**」と「**成功**」は**いつも僅差**だったと振り返ることができます。



星野リゾートの社長の「長期視点に立つ。理論でもうまくいかないことはある。でも、長期の時間軸で考えると失敗かどうかわからない。しつこくやる。しつこくやるから、失敗したことがないといわれる。成功するまでやり続ける。」や、パナソニックの創業者の「世にいう失敗の多くは、成功するまでに諦めてしまうところに原因があるように思われる。」という達人的な言葉があります。そうです。失敗は長期的な視点で見ると、実は単なる失敗ではなく、**失敗を有効活用して進む「成功へのステップ」**だということに気付かされます。

今週から期末考査が始まります。自分自身のことを簡単に諦めない強さを発揮し、これまでの反省を有効活用してください。「失敗」と「成功」は僅差です。

**荒川工業の学びは、皆さんを簡単に諦めさせることはしません。**先生方はしつこく皆さんを育てようと「挑戦」をしています。**先生方も失敗を繰り返しながら、失敗を有効活用し皆さんの学びの充実に取り組んでいます。**がんばれ！

ぶらり、あらこう散歩

【全日】電子メールの送受信の仕組みを指導する情報技術科の加藤先生。サーバー上にIPアドレスを設定し、メールの送受信の基本を体験的に学んでいました。「**はい！みんな～ちょっと見て～**」と先生のキャラクターと知識と熱量が合わさり、難しいと思われる学びに生徒たちが吸い込まれるようになっていました。



【定時】車座になり宮沢賢治の宗教観を読み解くのは国語科の永井先生。**思考に語り掛けるように、ゆっくり、丁寧に問いを立てながら授業を進めることで、生徒たちは活発に自分の考えをOut-Putして**いました。見事な生徒の**思考と表現のピックアップ**でした。「やれるぞ！」荒工生！



**「未来を創る！彩る！荒川工業」**